

あいりん総合センター跡地等 に求める機能について

2020年10月14日

あいりん地域まちづくり会議

あいりん総合センター跡地等に求める機能【にぎわいの創出】（案）

【基本的な方向性】

- 平面（オープンスペース）だけでなく、建物を建設して高度利用する部分も併用して効率的に跡地を活用していくことが望ましい
 - 建物の建設や事業実施に必要なコストについては、にぎわいエリアを中心に財源を生み出す知恵を出していく必要がある（事業の継続性が見込める持続可能な地域貢献事業を検討すること）
 - 要望を具体化するためにも、優先順位やイニシャル及びランニングコストを含めてリアリティを検証すること
- ⇒ すべての機能を入れると大きな空間が必要となるため、現施設の検証をはじめ市は方針を示すこと
- 『（再）チャレンジ可能なまち』を具現するインクルーシブなまちづくり拠点として「地の利」と「社会包摂性」のダブルエンジンを組み込んで地域の魅力が顕在化するよう知恵を出すこと（再チャレンジ拠点が停滞しないことが重要）
 - 南北敷地（府・市）が接続するエリアについては、相互連携を意識した融通の利くバッファエリアとして位置付け、府と市の施設（機能）が有機的につながるように配慮すること
 - 西成特区構想の多様な取組みとの情報共有・連携を図ること（各種専門部会、エリアブランド事業等）

【具体的な機能】（住民の福利との重複機能を含む）

集客機能

- 多目的に利用可能なオープンスペース（設備・しつらえを含む）
- 道の駅的機能や農産物直売所などの集客機能を持った商業施設（観光バスなどの駐車場含み、駅側からのイメージも検討）
- 旅行客なども誘引されるフリースペースとして、自由に使える場を提供してにぎわいと交流を促す場
- 図書館や保育園などのコミュニティ機能を有し、多様な人が参画できる場づくりと交流によってにぎわいを生み出す場に

地域の歴史等の伝承

- 地域の歴史等を伝えていくアーカイブ機能を構築する
- このまちだからこそ体験でき、学べる場所を設置する

防災機能

- 新たな労働施設も含めて、可能な限りこの場所で担保できる機能等を検討していく

あいりん総合センター跡地等に求める機能【住民の福利】（案）

ワンストップ相談窓口

- 若年就労困難層，障がい者，ひとり親世帯など，様々な内容に対応可能な窓口
 - 居住支援（住居確保・生活支援等）にも対応できる窓口
- ⇒対象と機能が多様であることから「ワンストップ」のイメージを共有し，機能と空間を整理すること（使い勝手の良いものに）

<必要となる場所・人員等>

- 受付窓口・相談ブース，相談員の執務スペースなどの確保
- こども・子育て，就労（労働），各種福祉・生活支援などに精通した相談員の配置

● 相談機能

- ⇒ ワンストップ相談窓口には様々な困難層が集まる。当人だけでなく，その人に連動している諸課題（ネグレクトやDV等）にも気付き，対応できるようにしてほしい。
- ⇒ 発達障がいを抱えるこども（若者）の相談やカウンセリングも含めてほしい。
- ⇒ 窓口に繋がらない人もいるので，ここをアウトリーチの発進拠点にして，積極的に外に出ていくことはできないか。
- ⇒ ワンストップの具体化に際しては，相談者が窓口で” たらい回し状態” にならないように，労働施設での支援も含めて可能な限り空間的一体性を担保すること（ex.府の施設に市の機能を組み込む可能性も検討すること）
- ⇒ 人が集まる場所に各々の支援者や専門家が出向くような，対象者がどこにいても駆けつけるワンストップ機能も検討すること

● 解決機能

- ⇒ こども・子育てに関しては「ワンストップ解決」として，どんなニーズがあってもその場で対応し，必要なサポートを行うようにしてほしい。専門的窓口の設置

*備考

- ✓ センター跡地等では，個別の支援自体を行うというよりも，当該支援につなげるための相談事業等を行うこととしていく。
- ✓ 従前，あいりん相談室で受けていたような相談は，現在，西成市民館内のあいりんランチ（包括支援センター）やサポータティブハウス等で受けており，一定のボリュームがあるため，何らかの形で相談支援の枠組みを確保することを検討すべきである。

あいりん総合センター跡地等に求める機能【住民の福利】（案）

多目的ホール

- 講演，勉強会，会議などができる場所
 - 独立して仕事を行う人が共有（コワーキング）する事務所・打ち合わせスペース等
 - 区内既存施設の整理を含めて必要なものを設置すること（西成市民館等の地域施設との関係を整理すること）
- ⇒ コワーキングスペースとは，異なる職業等の方々がシェアするオフィス空間をさす
- ⇒ サポートハウスの談話室のように，情報共有や意見交換ができる場所がほしい
- ⇒ 西成市民館の利用年齢層が広がるイメージ，皆が寄ってくるスペースに（現西成市民館の使い勝手の悪さを解消）
- ⇒ ホールや会議室での利用を考えると300人程度入るスペースが必要
- ⇒ 資金の調達は，「紫波町オガールプロジェクト」を参考にしている（ホテル，貸会議室，貸オフィス時間制スポーツ施設など，土地を原資としたビジネスを行い，その収益を公益的事業に充てている。）
- ⇒ にぎわいの創出（財源）が就労を生み出す仕組みづくりが重要である

<必要となる場所・人員等>

- 可動式の間仕切り等を備えたホールや会議室などの設置（小さい会議もできるように）
- Wi-Fiなどのインフラの整備

図書施設

- あらゆる世代の人たちが利用するコミュニティライブラリー（文化交流等ができる場所）
- ⇒ 地域課題と結びついた図書館機能が必要である（「西成アーカイブ」を内包できれば効果的）
- ⇒ 明石駅前の複合施設「パピオスあかし」内の「あかし市民図書館」には，低料金で飲食できるスペースやワイワイ喋ることができるスペースがある。
- ⇒ 図書機能を充実させるには，西成図書館（地域図書館）との兼ね合いも課題となる

あいりん総合センター跡地等に求める機能【住民の福利】 (案)

地域の仕事などを学ぶ場

- ICT等最先端技術・ものづくり体験ワークショップによる国際・世代間交流機能
- 地域の仕事の見える化・地域学習との連携（仕事体験型学習機能を含む），建設建築・日雇労働を学ぶ場

<必要となる場所・人員等>

- 各種展示物等の設置スペースや実演の場などの確保
- ワークショップスペース（作業室・会議室等）の確保

こどもの居場所、子育て支援機能

- 学年を問わず利用できるこどもの居場所⇒図書館，農園等(居場所・体験学習機能を含む)
- 地域外のこどもも含めて検討し，地域に呼び込む集まれる場に
- こども専用のフロアを確保してほしい。こどもが自由に遊べる場所
⇒ こどもだけではなく若者などにも対象を広げて，音楽やストリート系などに挑戦する若者も使うことができるスペースに（利用者層の対象地域も広げる必要がある）
- こどもの自己実現を促すチャレンジの場⇒プレーパーク，地域の仕事体験型学習機能
- こどもを預けることができる機能 ⇒ 保育園・幼稚園，ショートステイ
⇒ ネグレクトを受けているこどもなども寄ることができる場所にしてほしい
- 現在，対象となるこどものイメージが見えにくいため，ターゲティングや具体的なつながり方など，専門部会の議論を深めること
- 周辺施設との連携・つながりを重視すること（『萩小の森』等）

<必要となる場所・人員等>

- 図書館，プレーパーク，ショートステイ，農園等の設置に必要なスペースと運営に必要な職員の配置
⇒ 中学生高校生がスタッフとして参加し，主体的に企画する（そのために大人がサポートする）
- 保育所や幼稚園に必要なスペースや人員（認可等基準での確保・配置）

あいりん総合センター跡地等に求める機能【住民の福利】（案）

防災機能

- 一時避難場所、避難所機能など
- 防災資材や緊急的なインフラの確保など
- 防災機能については、「避難する場所」だけでなく「助けるシステム・チーム」（地域資源を活用）をつくること
- 拠点を作るだけでなく、支援をはじめ「使いこなす」仕組みづくりが重要
- 防災に関する各地の事例を学んで活かすこと（議論を深める場が必要）

<必要となる場所・人員等>

- 各種展示物等の設置スペースや実演の場などの確保
- ワークショップスペース（作業室・会議室等）の確保
- かまどベンチやマンホールトイレなどのインフラを整備

備考

- ✓ 他の機能（既存の機能）を活用して生み出していくべき機能となる
- ✓ 地域内の公園との連携・整理が必要

その他

- 5～10年後を見据えて、西成区以外の利用者も想定した検討を行っていくべき
- 世代間その他の要素で利用者が分断されないための取組み、仕掛け、考え方が重要
- 各テーマにある「ワンストップ」の議論を深める場をつくること（多様なワンストップのイメージがあるため）

あいりん総合センター跡地等に求める機能【参考施設】

① パピオス明石

- ・ 当該施設は、駅隣接、商業施設併設で集客力は強い。
- ・ 利用者の世代でフロアを分けているが、連携が取れているという好例。

<各階案内>

- 6F あかし総合窓口（ワンストップ相談窓口）
- 6F こども健康センター
- 5F あかし子育て支援センター
（プレイルーム・こども図書室）
- 5F 親子交流スペース ハレハレ
- 5F 中高生世代交流施設
AKASHIユーススペース
- 5F にこにこ保育ルーム（一時保育ルーム）
- 4F あかし市民図書館
- 2F あかし市民広場

② オガールプラザ

- ・ 当該施設は、駅隣接、商業施設併設で集客力は強い。
 - ・ 事業収入を図書館などの市民サービスに循環させている好例
- <施設案内>～施設HPより抜粋～

（ショッピング・レストラン）

- ・ 中華料理店、すし店、居酒屋、バイキングレストラン、じゃじゃめん専門店
 - ・ ベーカリー&カフェ、バル・レストラン、カフェ・クレープ店
 - ・ 眼鏡屋、コンビニエンスストア、アウトドア・スポーツ・キャンプ用品店、家具店
 - ・ セキュリティ営業所、ヘッドスパ&ヘアサロン、紫波マルシェ（地域名産店）
- ### （スポーツ）

- ・ フットボール場、多目的スポーツ施設、体育館、トレーニング施設
- ### （クリニック）

- ・ 歯科、眼科、小児科・保育室、薬局
- ### （子育て・教育）

- ・ 図書館（紫波町図書館）、地域子育て支援センター（紫波町子育て応援センターしわっせ）、紫波町こどもセンター、進学塾、キッズ英会話スタジオ

（その他）

- ・ エネルギーステーションパーク&ライド駐車場、レンタルスペース（紫波町情報交流館）
- ・ 神社、町役場、モデルハウス・相談支援窓口（紫波型エコハウスサポートセンター）
- ・ 広場（オガール広場）、ホテル・合宿場

<https://papios.jp/floor/>



<https://ogal.info/>



オガールで 楽しむ	オガールで 食す	オガールで 暮らす	オガールで 学ぶ
#のんびり過ごす #BBQ #アウトドア #泊まる #産地直送野菜	#美味しい時間 #産地直送野菜 #地元のお酒 #パン	#体を動かす #キレイになる #体調管理 #企業 #小児科	#イベント #のんびり過ごす #図書館 #新しい発見 #子育て